

平成 29 年度 普代村立普代小中学校 経営計画(案)  
 ～小中一貫教育～

**1 学校教育目標**

普代村の目指す 15 歳の子ども像「育ちあい 助けあい 認めあい “愛” がいっぱい普代っこ」を育成するために学校教育目標を次のように定める。

「教育目標」を達成するためのさまざまな教育活動において、常に生徒に「校訓」を意識した活動をさせるとともに、教育活動を直接指導・支援する教職員も「校訓」を意識して教育を展開していきます。(校訓は当面中学校のみ)

(1) 学校教育目標

生きる力を有し、ふるさと普代の復興・発展に寄与しようとする生徒の育成

※ 生きる力(確かな学力・豊かな心・健やかな身体などの調和のとれた発達によって培われた力)

校 訓

**一心練達 心を集中させ、皆の心をついにし、努力し目標に達すること**

(2) 学校教育教育目標と教育課程の関連

学校教育目標 ・ めざす子ども像	生きる力			ふるさと普代の復興・発展に寄与しようとする子ども	
	確かな学力	豊かな心	健やかな身体		
	基礎的な知識・技能を習得させ、それを活用し、課題を解決する力を育成する。	自律・協調・感動・思いやりを兼ね備えた豊かな人間性を育成する。	たくましく生きるための健康を兼ね備え、体力を育成する。	将来の地域の担い手としての資質や復興・発展に貢献する意欲を醸成する。	
キーワード	基礎的な知識・技能の習得 活用する力 解決する力	自律・協調・誠実 思いやり 自己理解・他者理解 自己有用感	自らの健康 体力 鍛えあい	将来の見通し 地域理解 意欲の醸成	
関連教育	復興教育・キャリア教育・特別支援教育(ユニバーサルデザイン)				
	小中一貫教育・読書指導		健康教育	ボランティア教育	
	国際理解教育	道徳教育	食育	伝統・文化の教育	
関連する教育課程	教科	◎	○	◎	○
	道徳		◎		○
	特活	○	○	○	○
	総合	○			◎
	部活		○	◎	

**2 目指す子ども像**

何時でも何処にいてもふるさと普代を思い、その復興・発展を担い、支える子どもの育成

- ・ 夢を持ち、進んで学ぶ元気な子ども (確かな学力・育ちあい)
- ・ 思いやりを持ち、心をひらいて笑顔であいさつする子ども (豊かな心・助けあい)
- ・ 自信をもち互いの良さを知り共に生きる子ども (健やかな体・認めあい)
- ・ ふるさと普代に誇りを持ち、復興・発展を支えようとする子ども (自己有用感・郷土あい)

### 3 目指す学校像※小中で要検討

教師力を高め、地域力を生かし、児童生徒が生きる力を確かに育む学校

- ・ 子どもの夢をはぐくむ魅力ある学校
- ・ 明るく、活力があり、文化のある学校(普代中、普代小にも似た表現あり)
- ・ 潤いと安らぎのある、安全できれいな環境の学校(普代小に似た表現あり)
- ・ 地域に根ざし地域とともに歩む学校

### 4 目指す教師像※小中で要検討(「岩手の教員に求められるもの」から)

県民全体の奉仕者であることを自覚し、優れた教育力を持ち児童生徒と思いを共有し質の高い教育活動を提供できる教師

- ・ 分かりやすい授業ができ、児童生徒に確かな学力をつけることができる教師
- ・ 児童生徒に対する愛情を持ち、一人ひとりの児童生徒と真剣に向き合うことができる教師
- ・ 豊かな人間性を持ち、幅広い教養と良識を身につけた教師
- ・ 教員としての使命感や責任感を持つ教師

## 5 学校経営方針【H31年度?までは小・中それぞれの経営の重点で進める。】

本校は、最大の受益者である生徒のための教育活動を展開し、知・徳・体のバランスの取れた生徒の「生きる力」を育むとともに、普代村の将来の担い手として村の復興・発展に寄与しようとする意欲を持った生徒を育成します。

また、保護者・地域のニーズ等にこたえ、地域の学校としての機能を発揮するとともに、家庭・地域と協同して生徒たちの教育を展開していきます。

さらに、本校はいじめを許しません。いじめが発生した場合は、可能な限り迅速な対応を行います。

## 6 本年度の経営の重点

### (1) 経営の重点

ア 生きる力を育む教育の充実

イ ふるさと普代の復興・発展に寄与しようとする生徒を育む教育の充実（キャリア教育を加味した復興教育の充実）

ウ 施設一体型小中一貫校開校に向けた教育課程の編成

### (2) 経営の重点にかかわる具体

ア 生きる力を育む教育の充実

#### (ア) 確かな学力

本校生徒に確かな学力を保証し、「授業がわかる」生徒の割合を増やすことが必要であること。そのためには、生徒の力をどのように伸ばすかの観点を重視した授業を実践します。

- ・ 教科経営を見直し、教科担任による「わかる授業」を実践すること。
- ・ 学校体制による数学・英語、家庭学習の取り組みを充実させること。
- ・ 全国学調・県学調の分析による改善策を各教科の年間指導計画に位置づけて指導すること。
- ・ アクティブラーニングを取り入れた総合的な学習の時間を充実させること。

#### (イ) 豊かな心

道徳の時間を中心にして、本校の道徳教育を充実させ、命の大切さや相手を思い遣る心を育ていじめのない学校を実現します。

- ・ 道徳の時間を大切にし、生徒に自律・協調・誠実、思いやりなどの心を培うこと。また、道徳の教科化に向け、授業研究並びに評価について研究を充実させること。
- ・ 自己理解を深化させ、生徒一人ひとりの自己有用感を醸成すること。
- ・ いじめ調査を適宜実施して生徒理解に努め、生徒指導を充実していくこと。

#### (ウ) 健やかな身体

健全な精神を宿す健やかな身体を育むため、食育・健康教育を重視するとともに、生徒の運動能力を高める指導を充実させます。

- ・ 部活動指導を充実させること。
- ・ 食育や健康教育を充実させ、生徒自身が自己の健康に留意した生活ができるようにすること。

イ ふるさと普代の復興・発展に寄与しようとする生徒を育む教育の充実（キャリア教育を加味した復興教育の充実）

沿岸地域において、唯一甚大な被害のない普代村であるからこそ、次代を担う生徒に対し津波等の大災害に備える心や郷土の復興・発展に資する心を育てる必要があり、それは普代村に勤務する教職員としての責務です。

また、生徒が住むふるさと普代に誇りを持ち、将来の普代村に貢献しようとする心情を醸成するとともに自らのキャリアデザイン力を高め自立した中学生を育成します。

#### (ア) 復興教育

- ・ 被災地域との交流を通し津波等の大災害の恐ろしさを学び、自らの生き方を考えさせること。
  - ・ 防災マップ等の作成や中学生議会の開催により、ふるさと普代について考えることのできる生徒を育成すること。
- (イ) キャリア教育
- ・ ふるさと普代のよさを知り、普代に誇りを持つ生徒を育成すること。
  - ・ 自分自身の将来の進路を設計し、ふるさと普代に寄与しようとする生徒を育成すること。
- (ウ) 総合的な学習の時間の抜本的な見直しと運用
- ・ 調査研究や教科横断的な学習を取り入れ復興教育・キャリア教育の深化・充実を図ること。

#### ウ 施設一体型小中一貫校開校に向けた教育課程の編成

近い将来開校予定である施設一体型小中一貫校開校に向け、普代小学校と共同で教育課程等の編成を行っていきます。

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| (ア) 経営計画の作成           | (エ) 小中合同行事や小中合同授業の充実 |
| (イ) 9年間を見通した総合的な学習の編成 | (オ) 小中教職員の親睦の拡大      |
| (ウ) 小中相互乗り入れ授業の充実・拡大  |                      |

## 7 平成 29 年度経営の重点

### (1) 確かな学力の充実

- |                                  |             |
|----------------------------------|-------------|
| ア 確かな学力定着のための少人数指導やきめ細やかな指導の充実   | → 教務部・各教科   |
| イ 全国学調・県学調の分析と改善策を位置づけた教育課程の編成   | → 教務部・各教科担任 |
| ウ 学習指導要領改定に伴うアクティブラーニング等の校内研修の実施 | → 研究部・総合    |
| エ 読書指導の充実                        | → 教務部       |

### (2) 豊かな心（自己有用感）の醸成

- |                          |            |
|--------------------------|------------|
| ア QU調査を取り入れた学級経営の実践      | → 研究部・特別活動 |
| イ いじめにかかわる校内研修会の設定（3回／年） | → 生徒指導部ほか  |
| ウ 道徳の教科化に向けた研究の実践        | → 研究部・担任   |

### (3) 復興教育の充実

- |                         |                |
|-------------------------|----------------|
| ア 副読本を活用した復興教育の充実（朝読書）  | → 復興教育担当・特活・総合 |
| イ 総合的な学習の時間による防災マップ等の作成 | → 生徒指導部ほか      |

### (4) 施設一体型小中一貫校開校に向けた準備

- |                            |                    |
|----------------------------|--------------------|
| ア 施設一体型小中一貫公開校に向けた学校行事等の精選 | → 全職員              |
| イ 乗り入れ授業の見直しと新たなシステムの構築    | → 校長・教務・連携コーディネーター |

## 8 学校経営のための共通確認事項

### (1) 教職員としてのスタンス

#### ア 基本的スタンス

- ・ 公務員として最大の受益者である生徒（保護者・地域）に対して懇切丁寧であることを第一としましょう。
- ・ 教職員一人ひとりが危機管理意識を高め、万が一の災害などのための心構えを持ちましょう。

#### イ 普代中職員としてのスタンス（チーム普代）

- ・ 校訓「一心練達」の精神でベクトルを同じくして教育活動に邁進しましょう。
- ・ 教職員一人ひとりがそれぞれの役割を果たすことで経営目標の実現をめざし、調和のとれた教育活動を展開しましょう。
- ・ 教職員相互の肯定的評価を大切にし、常に明るさを持ち続け、互いに協力し合って教育活動に

臨みましょう。

- ・ 報告・連絡・相談・対応のサイクルを重視し、組織的な対応を心がけましょう。

#### ウ 専門性を有する教職員としてのスタンス

- ・ 教科の専門性を高めるための研鑽を積み、常に「わかる授業」の創造をめざしましょう。
- ・ 全国学調・県学調、P I S Sなどの諸調査問題に目を通し、専門性の向上に努めましょう。

### (2) 不易の取り組むべき教育活動

#### ア 教育課程の編成と適切な実施

- ・ 学習指導要領の趣旨にのっとり、望ましい教育課程の編成と運営の工夫・改善。
- ・ 地域人材や資源を生かした教育活動の推進。
- ・ 郷土の伝統芸能文化継承活動の推進。(神楽同好会活動の推進と支援)

#### イ 授業力の質的向上を目指す校内研修の推進

- ・ 基礎・基本の定着を図る授業研究の推進。
- ・ 学級活動や生徒指導に関わる事例的研修(学級づくり、リーダー育成、不登校、学校不適応、教育相談、問題行動、Q U調査・エンカウンター指導等)の推進。

#### ウ 学力向上を図る学習指導の充実

- ・ 学習課題の明確化、指導と評価の工夫による基礎的・基本的な知識・技能の確かな習得とその知識・技能を活用する学習活動を取り入れた授業の推進。
- ・ 思考力・判断力・表現力などの言語活動の充実。
- ・ 授業に取り組む姿勢づくりと家庭学習習慣化の推進。
- ・ 英検、漢検、数検など自ら求めて学ぶ生徒育成の推進。
- ・ 教材・教具の工夫と電子黒板を含めた教育機器の効果的な活用推進。

#### エ 豊かな心や自立の心を育てる生徒指導の充実

- ・ 思いやりと存在感や成就感にみちた、自主的・創造的な生徒会活動の計画的指導の推進。
- ・ 学年の発達段階に即した学級集団づくりの推進。
- ・ 基本的生活習慣育成の継続的指導の徹底。

#### オ 「心と命」の教育及び食育・安全・健康教育の充実

- ・ 自他の「心と命」を大切にする「いきる」事に関する指導の徹底。
- ・ 深い生徒理解と人間的信頼関係に立脚し、個に応じた教育相談の展開。
- ・ 望ましい食習慣や健康維持のための生活習慣の確立への努力と、計画的体力づくりの推進。
- ・ 学校保健会・保健委員会の創造的活動による保健衛生の啓発と身体・健康教育の充実。

#### カ 特別支援教育の充実

- ・ 発達障がい傾向を持つ生徒の指導に対する共通認識・共通行動の徹底
- ・ 特別支援学級経営を全教師が支える体制づくりの推進
- ・ 特別支援学級の効果的教育課程の編成に係る研究推進
- ・ 校内就学指導委員会・特別支援教育指導委員会の体制整備

#### キ 教育環境の整備・充実と施設設備の効果的活用

- ・ 整理整頓を心がけ、校舎内外とも学習の場としての充実を図り、落ち着きと活気に満ちた学習環境の整備。
- ・ 学校図書室の充実・村教委読書活動推進員の積極的活用に努めた読書活動の充実。
- ・ 教材教具の活用と整理整頓に努める。

#### ク 家庭・地域・教育関係機関との連携・協働

- ・ 文科省型コミュニティスクール構想に基づいた「学校運営協議会」との協議・協働と、地域に根ざした特色ある学校づくりの推進。

- ・ P T Aとの共同による「まなびフェスト」の作成や家庭教育の充実。
- ・ 保護者、生徒を対象にした学校評価を実施し、それを活かした学校経営の改善。
- ・ 地域への情報発信の充実。(各種懇談会・ホームページの更新・校報「一心練達・北緯40度」と学年通信等の定期発行、P T A広報)
- ・ 地域の諸行事及び社会教育との連携を図りながら、地域に根ざす開かれた学校教育の推進。